

第52回釜ヶ崎 メ-デ-スロ-ガン

2021年5月1日

第52回釜ヶ崎メ-デ-スロ-ガン
民衆実行委員会

通天閣へ
10時05分

↑

釜ヶ崎
9時30分
デモ開始

公園8時30分
集合

密
にならない
示威行進

↑

↑

大きく変貌する釜ヶ崎・多様な人間の生き方を支えあう民衆の団結を！

差別をなくし男女平等参画時代にふさわしい「街づくり」
コロナ対策無為無策！ 働く者を守るまともな経済対策を！

民衆に犠牲を押し付けるな！ 女性に加重する矛盾に対する解決政策を！
「最低賃金は全国一律時給1500円」「とくそう一日300人」
「福祉を充実させるベーシックインカムを実現しろ」

定額給付金10万円を再度支給しろ！「生活保護費の引き上げ」
家賃補助。雇用継続助成・無料宿泊制度の改善。

不正・腐敗・汚職の政治体制の刷新！ 迫る総選挙にはまともな野党の奮闘を！
嘘で塗り重ねられた安倍政治、悪質継承した菅政権。まともな政治をとりもどそう。
森友・加計・桜・総務省接待疑惑解明はこれからだ！「学術会議」への介入やめろ。
「大臣、官僚の男女比を同じにしろ」「政治家、官僚は高級料亭に出入り禁止だ」
原発再稼働・汚染水海洋放水反対。水は命の源公共財・水道の民営化反対

維新政治の凶暴化にはどめを！ 2度の「都構想」否決の住民の意思を尊重すべきだ。
「野宿者の排除」を推進する「西成特区構想」にははんたいする。

「貧困ビジネス」の餌食にされる釜ヶ崎

日雇労働市場の再生を！ 野宿者を切り捨てる「新しい街づくり」であってはならない。
不安定労働者の雇用制度立て直しの具体的プランをしめせ！
旧あいりんセンターが備えてた福利厚生を西成労働福祉センター仮庁舎は提供しろ。

全日建連帯関西生コン支部への不当弾圧ゆるさない！ 労働組合の権利を踏みにじるな！
警官もこんな馬鹿なことせんとストライキくらいしたらいいのに
ミャンマー軍事政権の人民虐殺は即刻辞めさせないといけない。
日本政府の非人道的な「入管法改正」はゆるされない。

「オリンピック」やめてコロナに苦しむ人に支援を

Social Distancing

広がる地区内のコロナ感染・隠ぺい無視で手を打たない行政・シェルターの早急な全体PCR検査を

大阪城

2021年5月6日(木)

14162号 (資料メ-デ-ス(5/1)) 全関西西成分会 06-6647-4947

釜ヶ崎民衆メーデー宣言

釜ヶ崎の先人たちは万博、オイルショック、阪神大震災、不況の時代を通じて、過酷な労働条件下にあつても、労働者どうしが団結することで声をあげ、抑圧を跳ね返す闘いを行なつてきた。それから半世紀たつたいま、底辺社会で生きる労働者たちは果たして自らを解放しうるエネルギーを持つているだろうか？

今はコロナ禍。失業者は増え続け、働けたとしても低賃金・長時間労働によつて日々苦しめられている。とくに女性の労働者たちの窮状は酷いもので、保育士、看護師、介護士たちは過酷な労働に見合わない賃金で働かされている。非正規労働者の割合も男性に比べて女性が圧倒的に多い。このコロナ禍で家に閉じ込められた女性は夫からのDV被害を受け続けている。着の身着のまままで宿舍付きの派遣先、いわゆる飯場・労働宿舍に、そうした女性たちとその子供たちが多く逃げ込んでいくという。

東南アジアからきた技能実習生は低賃金・長時間労働を行う。ある技能実習生のベトナム人女性は帰国させられることを恐れて出産した赤ちゃんを放置して捕まった。入国管理局のなかでも移民の女性たちの命が奪われていく。日本の女性だけでなく国籍や階級によつて搾取され、暴力を受けている。

釜ヶ崎のメーデーでこうした女性が被っている問題をアピールするのはこれまであまりなかった。だけど、権力を握る男性たちの社会から差別され、搾取されているのは女も同じ。女も毎日息苦しいのだ。「家庭内暴力」「家庭内別居」など、屋根があつても心休まる場所がないこともある。旦那頼りの人生は、ひとたび独り身になれば貧困へと真つ逆さまに突き落とされる。でも誰かに保護されるよりは一人でも生きていける方がよっぽど自由だし、そういう社会を目指さなければならぬのではないか。

ここ釜ヶ崎では自力で生きる多くの女性たちがいる。路上で花を売るおばちゃん、タバコを売る韓国人のおばちゃん、四角公園付近の露店で沖繩そば屋をやつていたおばちゃん、賭け麻雀で一人勝ちするおばちゃん。炊き出しを食べてまた路上に寝に帰る女性の野宿者たち。釜ヶ崎にはいろんな女性が流れついで、それぞれの「しのぎ方」を編み出し、生き抜いてきた。

カラオケ居酒屋の中国人のお姉さんは労働者から金を得ていても、高額な家賃を課すオーナーから抑圧されている。通りを行くケースワーカーや技能実習生もギリギリの賃金で働いている。これまで男の労働者たちが闘ってきたように、釜に居る女性も人間としての権利と自由をつかみとるためにいま共に声を上げよう。

いま、釜ヶ崎は再開発が進んでいる。そのなかで日中休める場所であつたセンターが閉鎖された。これから建て替わるセンターは観光客向けの施設などではなくシャワー室、安価な食堂、将棋部屋、体を休められる場所、炊き出しができる場所でなければならぬ。特掃の仕事も一日300人に増やす必要がある。ここにいる釜の労働者が道路やダムなど日本の礎を築いてきたのだから、その労働者が排除されるものであつてはならない。

コロナのワクチンは富裕層・富裕国や権力者が真つ先に摂取できる。アメリカではワクチン摂取できなかったものだけがマスクを外し、公園に出てピクニックができるという。人間を馬鹿にするのもいい加減にしてほしい、インドでは酸素ボンベの奪い合いが起きているというのに。吉村知事はPCR検査を受けさせず、困窮者に補償なき自粛を強制、医療崩壊を招いた。貧者はますます自由を奪われていく。こうしたさらなる資本主義社会の抑圧が攻勢をかけてきている今だからこそ、このメーデーだけは譲ることができない日になる。メーデーは虐げられている者たちが主人公になって、自由に声をあげることの出来る日だ。

今日は仲間とともにすべての労働者の自由と解放を求めて街を練り歩いていこう。